

奈良県熊野川上流部大規模氾濫に関する減災対策協議会

# 令和6年度の取組状況報告

取組機関

五條市

連携機関

なし

取組内容

No.29 小中学校や地域を対象とした水災害教育の実施

## ◎取組概要

五條市では平成23年9月の紀伊半島大水害を風化させないために、これからの将来を担う子どもたちへ災害の恐ろしさや災害から学んだ教訓を継承しています。

## ▼内容

- ・五條中学校・五條小学校・五條南小学校の生徒を対象に令和6年8月27日に災害発生現場で防災教育を実施。
- ・実際に災害対応を行った元市職員から話を聞き、被災地(五條市大塔町 宇井地区)を見学。
- ・自分たちが住んでいる地域を舞台にハザードマップを活用し、マイタイムライン作り訓練を実施。
- ・段ボールベッド等の組立を通した避難所体験を実施。

## ▼感想等

実際に被災地を視察し、復旧された現在と当時を見比べてもらった。机上で学習するよりも被害の規模や復旧復興までのイメージが湧き、より一層の理解を深めれたと思われる。防災教育を受けた学生たちからも色々な質問が出て熱心さが伝わってきた。マイタイムライン作りでは、自宅や学校、避難所を結ぶ経路にどのような危険箇所があるか確認できたことに加え、早めの避難の重要性や事前にできる取り組みについて学んでもらうことができた。

## 防災教育の様子



# 十津川村の令和6年度の取組状況

取組機関

十津川村

連携機関

なし

取組内容

No.29 村民を対象とした防災説明会の実施

## ◎取組概要

### 防災対策を主題とした地区別懇談会を開催

- 日 時: 令和6年7月25日～10月10日  
(地区別に合計9回実施)
- 対象者: 全村民
- 内 容: 地区防災計画の策定に関する案内、促進  
防災倉庫について  
防災訓練の実施について

懇談会の様子



### 工夫した点

- ①令和6年能登半島地震の状況について現地で実際に支援を行った職員が当時の状況を説明した。また日向灘の地震により発表された南海トラフ地震臨時情報から、災害への備えと村での対応について説明し、改めて自助・共助の重要性について触れ、地区防災計画の策定を促した。
- ②蓄電池やガス発電機等の展示、紹介
- ③様々な内容の訓練を例に、防災訓練の実施について呼びかけた。

# 天川村の令和6年度の取組状況

取組機関	天川村	連携機関	なし
------	-----	------	----

取組内容	No.29 小中学校や地域を対象とした災害教育の実施		
------	----------------------------	--	--

## ◎取組概要

開催日時:令和6年7月8日(月)

対象者:天川小中学校4年生~9年生

実施内容

天川小中学校4年生~9年生を対象に、天川村で行っている防災対策や避難所の運営等を学習し、もし災害が発生し、避難所で生活する状況になった時、自分達ができることは何かを考えるワークショップを実施しました。



取組機関

下北山村

連携機関

総務省近畿総合通信局・奈良県

取組内容

No.32 近畿総合通信局と下北山村との共同防災訓練

## ◎取組概要

陸路の搬送ルートが途絶した場合を想定した想定し、空路による搬送手順の確認と支援機器及び人員の搬送訓練のほか、役場職員や住民への災害対策用移動通信機器等の操作体験訓練等を実施することにより、防災意識の高揚と地域防災力の向上を図る目的で実施しました。

また、中学生を対象に電波教室を開催し、災害時に利用する無線の仕組み等について学ぶ機会を提供しました。

○日時 令和6年11月13日(水)、14日(木)

○実施場所 下北山小中学校、下北山村役場、  
下北山スポーツ公園及び池原公民館



○訓練の内容

- (1)ヘリコプターによる近畿総合通信局の移動通信機器等(※)の搬送
- (2)下北山小中学校 後期課程(中学生)生徒への電波教室及び通信機器操作体験
- (3)住民参加による通信機器及びLPG エンジン式発電機操作体験
- (4)下北山村役場と下北山スポーツ公園及び池原公民館との間等の通信確保訓練
- (5)耐災害性の高いネットワーク技術を活用した通信網を利用した下北山村と奈良県との間の通信確保訓練

# 上北山村の令和6年度の取組状況

取組機関

上北山村

連携機関

なし

取組内容

No.32 地域版タイムライン作成研修の実施、法面对策の実施

## ◎取組概要

### 地域場タイムライン作成研修の実施

一般財団法人消防防災科学センターの令和6年度市町村防災研修事業を活用し、消防団や民生委員、区長を対象に、地域版タイムライン(風水害)作成研修を実施した。



### 災害防除事業

道路防災機能の向上や、交通安全・移動上の利便性を確保するため、村道の法面对策を行いました。(村道和佐又～伯母峰峠)



取組機関

野迫川村

連携機関

1.広域消防組合野迫川分署及び消防団  
2 奈良県

取組内容

④水防団等との情報伝達訓練の実施

## ◎取組概要

**1. 奈良県広域消防組合野迫川分署及び地元消防団との情報伝達訓練**

- 日 時:令和6年11月16日
- 参加機関: 野迫川村、奈良県広域消防組合野迫川分署、消防団
- 実施期間: 令和6年度
- 奈良県広域消防組合野迫川分署の呼びかけにより実現
- 得られた成果  
消火訓練と合わせて、トランシーバー等による非常時の情報伝達訓練を行うことで、各機関の連携を深めることができた。



(訓練時の様子)

**2. 県補助金を活用した避難所移転事業の実施**

- 実施期間: 令和6年度～令和7年度
- 活用した補助金: 奈良県土砂災害緊急安全確保対策促進事業補助金
- スケジュール: 令和6年度に用地取得事業、令和7年度に造成工事、避難所設置工事等を実施予定

※令和6年11月5日 奈良県庁の知事室において交付申請式実施

※参加機関: 野迫川村、奈良県砂防・災害対策課



(交付申請式の様子)

# 奈良県の令和6年度の取組状況

取組機関	奈良県（五條土木事務所）	連携機関	なし
取組内容	No.1 洪水を河川内で安全に流す対策に関する事項（堆積土砂撤去）		

## ◎取組概要

H23年の台風12号以降、大量の土砂が河川内に流出・堆積し、洪水により氾濫する恐れがある。洪水を河川内で安全に流す対策として、堆積土砂の除去工事を実施した。また、追加の処分地の確保が重要な課題となっており、処分地確保の工事を今後予定している。

【浚渫箇所】



## ◎実施概要・位置図

工事名：川原樋川 浚渫工事  
 工期：R5.12/12～R6.6/28  
 工事箇所：五條市大塔町清水・宇井  
 工事概要：L=500m  
 （令和5～6年にかけて約33,000m<sup>3</sup>を撤去）



【処分場】



取組機関 奈良県（五條土木事務所）

連携機関 なし

取組内容 No.1 洪水を河川内で安全に流す対策に関する事項（堆積土砂撤去）

## ◎取組概要

平成23年の台風12号以降、大量の土砂が河川内に流入・堆積し、洪水により氾濫する恐れがある。洪水を河川内で安全に流す対策として、堆積土砂の除去工事を実施している。また、追加の処分地の確保が重要な課題となっており、新たな処分地設置の検討を進めていく。

## ◎実施概要・位置図

【工事名】滝川 堆積土砂撤去工事  
【工期】R6.11.15～R7.3.5

【工事箇所】吉野郡十津川村滝川  
【工事延長】320m(約7,800m<sup>3</sup>を撤去済)



# 奈良県の令和6年度の取組状況

取組機関 奈良県（五條土木事務所）

連携機関 なし

取組内容 No.1 洪水を河川内で安全に流す対策に関する事項（堆積土砂撤去）

## ◎取組概要

平成23年の台風12号以降、大量の土砂が河川内に流入・堆積し、洪水により氾濫する恐れがある。洪水を河川内で安全に流す対策として、堆積土砂の除去工事を実施している。また、追加の処分地の確保が重要な課題となっており、新たな処分地設置の検討を進めていく。

## ◎実施概要・位置図

【工事名】神納川 堆積土砂撤去工事  
【工期】R6.11.25～R7.3.14

【工事箇所】吉野郡十津川村五百瀬  
【工事延長】193m(約9,200m<sup>3</sup>を撤去予定)



工事前(R6年度実施箇所(工事中))



工事後(R6年度実施箇所(工事中))



# 紀の川ダム統合管理事務所の令和6年度の取組状況

共通

国管理区間

県管理区間

取組機関	紀の川ダム統合管理事務所	連携機関	
取組内容	猿谷ダム試行運用の実施		

## ◎取組概要

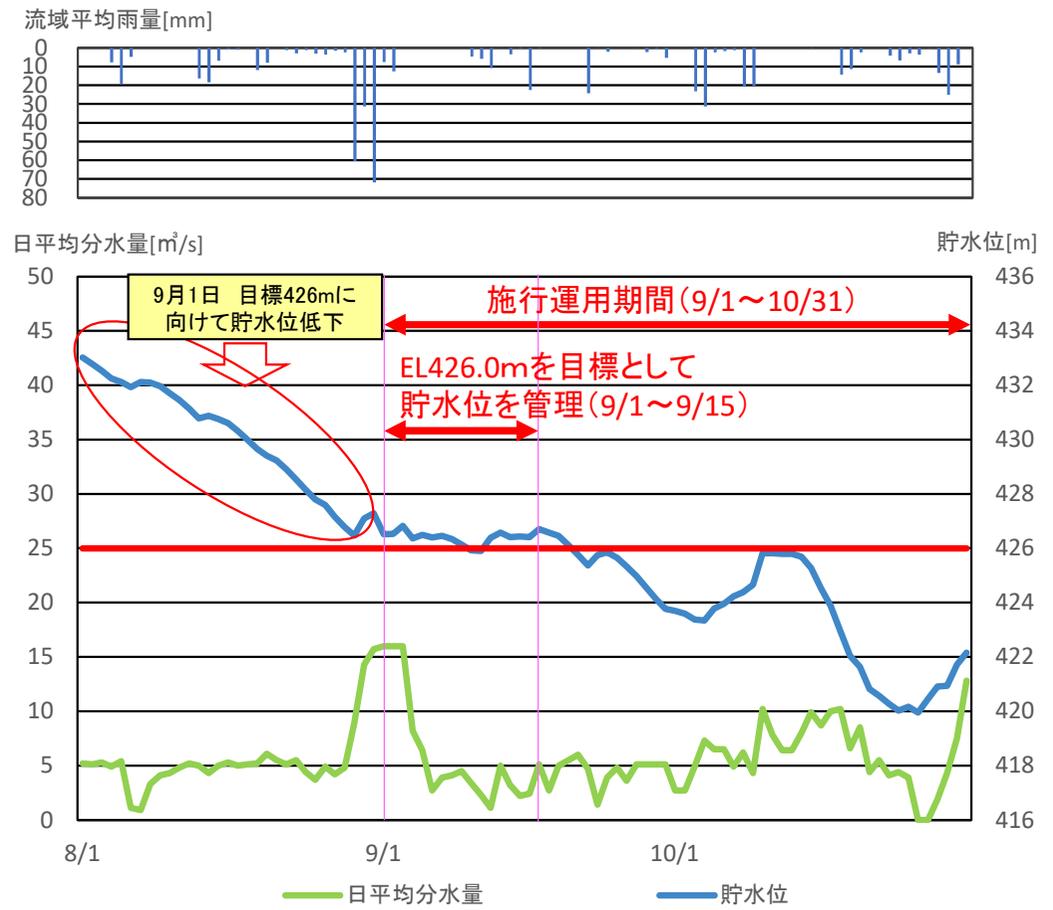
・目的：猿谷ダム試行運用は、下流の洪水被害の軽減を図るため、あらかじめ空き容量を確保して洪水時の放流量を低減することを目的とする。

- ・貯水池管理：試行運用期間 9月1日～10月31日  
 ※上記期間において、これまで大きな洪水が発生しており、利水への影響の無い範囲で目標水位を設定
- 期間①（9月1日～9月15日）  
 426mを目標に水位維持し貯水位の管理を行う
- 期間②（9月16日～10月31日）  
 426mを超えている場合に、次のいずれかの条件に該当する時に、426mを限度として貯水位を低下させる。（事前放流）

- 条件
- 一 台風が中心が、東経128度から138度の間で北緯24度以上に達し、猿谷ダムに接近が予想され、かつ、気象庁MSM数値予測モデルの予測雨量と実績雨量による一連の雨量の9時間累積雨量が130mmを超えると予測されるとき
  - 二 猿谷ダムの最大流入量が毎秒1,000m<sup>3</sup>/sを超えると予想されるとき
  - 三 気象、水象その他の状況により、所長が必要と認めたとき

## ○令和6年度試行運用期間の貯水池運用状況

### 試行運用期間の猿谷ダムの貯水池運用





取組機関 奈良地方気象台

連携機関 下北山村

取組内容 ⑳教育、啓発活動の実施

### ◎取組概要

## ケーブルテレビの自治体チャンネルを利用した気象台の情報発信・普及啓発

○実施期間：令和6年7月～ 下市町で開始  
8月末 台風第10号接近時の臨時版を放送  
(下市町・川上村)  
令和7年2月～ 下北山村で開始予定

○放送内容 ・南海トラフ地震への備え  
・熱中症予防  
・台風第10号への備え  
・気候変動

### 工夫した点

- ①台風接近前に注意・警戒すべき点を住民に周知、呼びかけ
- ②放送するスライドの文字を大きく、わかりやすい言葉で資料作成
- ③気象台からの季節のトピックやイベントのお知らせを放送し、気象台の取組みを幅広い年代に周知

### ▼台風第10号接近時の臨時版

奈良地方気象台 台風第10号の今後の動きと奈良県への影響  
令和6年8月30日

**<今後の動き>**  
台風第10号は、31日午後から9月2日頃、奈良県に最も接近する見込みです。台風は動きが遅く、進路は予想の幅が大きいことから、最新の情報をご確認ください。

**<奈良県への影響>**  
・台風が近づく前から、南から暖かく湿った空気の流れ込みが続くため、局地的に雷を伴った非常に激しい雨が降り、台風が最も接近する9月2日頃にかけて警報級の雨となり、風が強くなる見込みです。  
・30日夜から31日午前中にかけて、線状降水帯が発生して、大雨災害発生の危険度が急激に高まる可能性があります。  
・台風の動向によって、影響がさらに長引く可能性もあります。

**<防災事項>**  
土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に十分に注意。  
また、強風や竜巻などの激しい突風や落雷などにも注意してください。

避難情報や自治体からの指示を確認し、安全のための適切な行動をお願いします。



### ▼気候変動について情報発信

奈良県の雨の変化

これから...<sup>※1</sup> 雨の降る日数は減少するが、災害につながるような大雨・短時間強雨の発生頻度は増加

	2℃上昇シナリオ	4℃上昇シナリオ
1時間降水量50mm以上の回数	1.9倍に増加	2.4倍に増加
日降水量200mm以上の回数	2.0倍に増加	2.7倍に増加
年最大日降水量 <sup>※2</sup>	1.1倍に増加	1.2倍に増加
無降水日数	4日増加	12日増加

※1：「これから」とは、21世紀末(2070年～2095年の平均)の予測を20世紀末(1980～1999年の平均)と比較したものである。  
 ※2：1年に最も多く降った日の降水量  
 ※3：1.6倍は、日本全国での値  
 ※4：令和5年9月19日 気象研究所報道発表

4℃上昇シナリオの場合線状降水帯の発生頻度が1.6倍に！<sup>※3</sup>

大雨や短時間強雨は発生数が少ないため、地域単位での予測は不確実性が大きいことに注意！  
近年近畿地方では、1時間降水量50mm以上の回数が増加

気象庁 Japan Meteorological Agency 2024年度 奈良地方気象台 作成



取組機関	関西電力(株)再生可能エネルギー事業本部 吉野水力センター	連携機関	—
------	-------------------------------	------	---

取組内容	九尾・川迫ダム調整池内における堆積土砂除去
------	-----------------------

## ◎取組概要

九尾ダム調整池内において堆積土砂の除去を行い、貯水容量確保と河川環境の改善を図る。

### 堆積土砂除去計画

九尾ダム：除去量約10,000m<sup>3</sup>、工期令和6年12月2日～令和7年1月下旬

川迫ダム：除去量約10,000m<sup>3</sup>、工期令和6年12月2日～令和7年2月中旬

九尾ダム



川迫ダム

